



交通弱者のために市内医療機関をまわる

病院巡回バスを実現！

こしかわ信一は

市立病院を充実します

「車の運転ができないので病院に行けない」「市立病院に行くための交通手段を確保して欲しい」。30回のミニ集会を重ねてきた中で、市民の皆さんから最も要望が多かったのが、銚子市立病院への送迎バスの運行でした。特に西部地区の方にとって、交通手段の確保は切実です。

「誰でも」「いつでも」かけられる病院にすることが銚子市立病院の使命です。一人暮らしのお年寄りや、交通弱者の足を確保し、すべての銚子市民が平等に、市立病院に行けるようにすることが求められています。

茨城県八千代町では、医療機関巡回バスを運行しています。日常の移動手段がない方のために、日曜日を除いた毎日、町内の各医療機関をつなぐ巡回バスを3つのコースに分けて走らせています。料金は無料です。

こしかわ信一は、市立病院だけの送迎ではなく、他の医療機関にも市民が行くことができる「医療機関巡回バス（病院バス）」の運行を実現していきます。



こしかわ信一 ■4月14日（日）午前10時30分～

出陣式 ■越川信一事務所（銚子市松本町、セブンイレブン前）

大内・大川・岡野 越川信一くんを励ます会 3人の歴代市長が応援!

「イジメ」と「ムダ使い」の市政を終わらせ、温かく活力に満ちた市政を築こう! 「越川信一を励ます会」が4月6日(土)開催されました。暴風雨にもかかわらず500名を超える市民がかけつけ、市民センターは超満員。「暗黒の市政を終わらせ、銚子を変えよう」と闘志を爆発させエイエイオー! 熱気に包まれました。



「市民だましの泥船に乗ってはいけません」と岡野俊昭・元市長



「不正のない町に銚子を変えていこう」と語る大川政武・元市長



市立総合病院を作った大内恭平・元市長も越川信一氏を激励

励ます会には、歴代の3人の市長が訪れ激励。銚子市立総合病院を作った大内恭平・元市長は「野平市長の政治手法は異常。自分だけが偉いと言わんばかりの人を小馬鹿にした唯我独尊な態度。やりたい放題の市政です。越川信一を押し上げ、明るい厳正公正な市政にチェンジしよう」と述べ、自作の応援歌を披露。

大川政武・元市長は、「銚子の観光に貢献してきた国民宿舎を、宗教団体に販売するためにつぶしたのは野平市長です。大学補助金90億円のうち45億円は県から来ると言っていましたが、一銭も来ませんでした。今、銚子電鉄が野平市長のオトモダチにのっとられるのではないかと多くの市民が心配しています。不正のない町に銚子を変えていきましょう」と気合。

岡野俊昭・元市長は、「野平市長が再び誕生したら、銚子はなくなってしまいます。銚子の将来を真剣に考え、真実の政治を行なう政治家を育てていきましょう。市民だましの泥船に乗ってはいけません」と述べました。

越川信一は、「50億円もかかる豪華市役所建設や200億円もする過剰なゴミ焼却場建設を見直し、豪華箱物行政・借金財政を転換し、福祉・子育て支援・まちおこしのために税金を使うことが、銚子の人口流出をふせぐ道です」と訴えました。



「税金の使い道を変えよう」と訴える越川信一



こしかわ信一 街頭演説会のご案内

4月14日(日) 12時 銚子プラザホテル前

4月16日(火) 午後5時 銚子銀座通りミヤスズ前

※このほか、市内各所で街頭演説をおこないます。

